

## 【 まちの将来像5 】

都市活力がみなぎる便利で快適なまち

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-1	地域経済を支える産業をまもりそだてる
施策の方向性	本市の農林業は、都市近郊立地の特性をいかし、都市と農村の交流を基軸とした地産地消の取組や、適切な森林整備を促進するとともに、地域ぐるみでの営農や市民、企業等の新たな担い手を育成します。 また、商店街が便利で楽しみのある場所として、買い物客や地域住民で賑わい、市内企業が安定的に事業を継続し、成長を遂げるなど、活力あふれるまちづくりを進めていきます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	★ 農林業の振興
	2	★ 都市と農村の交流活動等による活性化
	3	★ 商業の活性化
	4	企業活動への支援
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-1-1		★ 農林業の振興										
1	事業名	◎ 新規農業者養成事業											
	目的及び概要	農業の担い手の高齢化や若者の農業離れ等により担い手が不足し、将来、農地の遊休化が進むと考えられ、今後、持続的な農業の推進には都市住民等に農業に興味を持ってもらう必要があることから、関係団体等と連携し、市民農園利用者をはじめ市民や学生を対象とした農業体験を実施し、農家への援農や新規就農に結びつける。また、一定の営農技術を取得しているものに対し、国の給付金を活用して、農業経営をサポートする。 【関連取組:6-2-2 自然資源の利用の推進】				H31年度	内容	①農業体験の実施 ②国の給付金を活用した支援の実施 ③農業体験受講者に対する支援				事業の方向性の見込み(対前年度比)	
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	4.9	うち市負担分(百万円)	0.4	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	継続
												H35年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
2	事業名	新しい農業施策構築に向けた調査等											
	目的及び概要	新しい農業施策を構築・展開するため、地区ワークショップ等により地域の課題等を調査・整理するとともに、地域農業者とともにモデル事業を検討・実施する。				H31年度	内容	①事業のモデル実施・検証				事業の方向性の見込み(対前年度比)	
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	-
												H35年度	-
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
3	事業名	有害獣対策事業											
	目的及び概要	有害獣による農作物被害の防止を図るため、イノシシ・アライグマ等の捕獲活動の実施や有害獣防止柵・網の設置に対して助成を行い、農業経営の安定化と地域の活性化を図る。				H31年度	内容	①有害獣防止柵設置に対する支援 ②捕獲活動に対する支援				事業の方向性の見込み(対前年度比)	
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	3.9	うち市負担分(百万円)	3.9	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	継続
												H35年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	環境保全型農業推進事業											
	目的及び概要	生産性・収益性の高い作物の奨励や栽培技術、営農指導を行い、エコ農産物の栽培や環境に配慮した環境保全型農業を推進することにより、市民に安心・安全な農産物を供給し、地産地消を推進する。 【関連取組:6-2-2 自然資源の利用の推進】				H31年度	内容	①エコ農産物の栽培支援 ②有機性資源を活用した土づくりに対する支援 ③農業祭や広報誌等を活用し、生産・販売しているエコ農産物の情報発信				事業の方向性の見込み(対前年度比)	
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	1.0	うち市負担分(百万円)	1.0	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	継続
												H35年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
5	事業名	農業振興推進事業(遊休農地解消事業)											
	目的及び概要	集落営農活動に対する支援や農業委員会、農地中間管理機構等との連携による都市住民等の担い手の確保を行い、遊休農地の解消を図る。 【関連取組:6-2-2 自然資源の利用の推進】				H31年度	内容	①農業委員会と連携した遊休農地調査や営農指導 ②農地中間管理機構や準農家制度を活用した担い手の確保 ③集落営農へ農機具等の貸付等の支援の実施 購入費 92万円 貸付料 △11.5万円+△4.5万円				事業の方向性の見込み(対前年度比)	
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.9	うち市負担分(百万円)	0.8	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	継続
												H35年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
6	事業名	林業推進事業											
	目的及び概要	公益的な機能を有する森林の健全な管理育成と、都市と農村の交流の場として森林空間の提供を行うほか、林業者団体が実施する森林整備作業に対し支援を行う。 【関連取組:6-2-2 自然資源の利用の推進】				H31年度	内容	①林業者団体等が実施する森林整備事業への補助 ②森林整備に必要な林道の維持				事業の方向性の見込み(対前年度比)	
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	9.8	うち市負担分(百万円)	9.8	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	継続
												H35年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
7	事業名	農村総合整備事業											
	目的及び概要	水路や取水堰等の基盤整備を実施し、営農環境を改善することにより農作物の生産効率を高める。また、「見山の郷」廻りの親水護岸を整備することで、修景施設としての魅力の向上を図る。 【関連取組:5-1-2 都市と農村の交流活動等による活性化】				H31年度	内容	①事業実施 工事(取水堰改修)				事業の方向性の見込み(対前年度比)	
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	41.0	うち市負担分(百万円)	6.2	H32年度	継続
												H33年度	完了
												H34年度	-
												H35年度	-
	担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般		事業区分	ハード			

8	事業名	遊休農地解消事業										
	目的 及び 概要	農とみどり推進課等と連携し、優良農地の確保及び担い手の利用促進に努め、遊休農地の解消及び未然防止を図る。	H 31 年 度	内 容	①農地の利用状況調査 ②農とみどり推進課との連携、農地中間管理事業や準農家制度を活用した担い手の確保						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H32 年 度	継続
					H33 年 度	継続						
H34 年 度	継続											
担当課	部名	農業委員会	課名	農業委員会事務局	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
取組	5-1-2	★ 都市と農村の交流活動等による活性化										
9	事業名	◎ 農業振興推進事業(農空間活用事業)										
	目的 及び 概要	直売活動や都市と農村の交流活動を活性化させるため、れんげ米の栽培・販売支援や農商連携を行うとともに、直売所を通じた学校給食への地場産野菜の供給を推進することで、安定的な売り先の確保、地産地消の促進を図る。また、景観作物(れんげ)を一団で栽培する取組みに対する支援を行う。  【関連取組:5-1-3 商業の活性化】	H 31 年 度	内 容	①れんげ米の栽培支援 ②農商連携によるアンテナショップの開設検討 ③学校給食への地場産野菜の供給 ④景観作物(れんげ)を一団で栽培する取組み支援						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.9	うち市負担分 (百万円)	0.9	H32 年 度	継続
					H33 年 度	継続						
H34 年 度	継続											
H35 年 度	継続											
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
10	事業名	ふれあい農園管理事業										
	目的 及び 概要	市において開園している市民農園の管理運営について、農の魅力発信や運営の効率化を図るため、平成32年度より指定管理者制度による運営を目指す。	H 31 年 度	内 容	①講習会の開催 ②入園者の募集 ③日常の管理運営 ④指定管理者制度の検討 運営事業費 458万円(市民農園整備事業含む) 使用料 △413万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	4.6	うち市負担分 (百万円)	0.5	H32 年 度	縮小
					H33 年 度	継続						
H34 年 度	継続											
H35 年 度	継続											
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
11	事業名	農業祭開催事業										
	目的 及び 概要	市内農林産物等を展示し、都市と農村の交流を図ることにより、農林業に対する市民の理解と認識を深めるとともに、農林業の健全な発展と農業・農村の活性化を図る。  【関連取組:5-1-1 農林業の振興】	H 31 年 度	内 容	①農業祭開催のための負担金						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	5.0	うち市負担分 (百万円)	5.0	H32 年 度	継続
					H33 年 度	継続						
H34 年 度	継続											
H35 年 度	継続											
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

12	事業名	◎ 北辰中学校跡地活用事業									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内 容	北辰中学校跡地を活用し北部地域の活性化につなげるため、PFI調査などの結果や市民等の意見、また、里山センターの老朽化による再整備や他の北部地域のプロジェクト等の動向も踏まえながら、活用方法の検討・決定を行った後、事業を実施する。 <b>【関連取組:5-1-1 農林業の振興】</b>						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
										H32年度	継続
										H33年度	継続
										H34年度	継続
方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	2.3	うち市負担分(百万円)	2.3	H35年度	継続				
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
13	事業名	都市と農村交流情報発信事業									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内 容	もぎ取り園などの体験型農園や直売所におけるイベントの開催等についての情報発信を行い、都市と農村の交流を促進し、農業の振興を図る。						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
										H32年度	継続
										H33年度	継続
										H34年度	継続
方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H35年度	継続				
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
14	事業名	体験農園開設支援事業									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内 容	農家等が農地を利用して体験農園や市民農園を開設し、都市住民に対する農業体験の場を提供する場合、市として農園開設についての相談やアドバイスをを行い、市民農園等の開設を促進し、都市と農村の交流の推進を図る。						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
										H32年度	継続
										H33年度	継続
										H34年度	継続
方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H35年度	継続				
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
取組	5-1-3	★ 商業の活性化									
15	事業名	◎ 産業振興アクションプラン推進事業									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内 容	産業振興ビジョンに位置付けた「市内産業のあるべき姿」を実現するため、産業振興アクションプランの重点施策を中心に、一体的かつ継続的に取り組む。 <b>【関連取組:5-1-4 企業活動への支援】</b> <b>【関連取組:5-2-1 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成】</b>						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
										H32年度	臨時 拡充
										H33年度	継続
										H34年度	継続
方向性(対前年度比)	臨時 拡充	事業費(百万円)	6.5	うち市負担分(百万円)	6.5	H35年度	継続				
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			

16	事業名	商工業振興補助事業												
	目的及び概要	市内の商工業の活性化を促進するため、商店街等が行う共同施設関連事業(施設・設備等の設置)、共同運営事業(活性化計画の策定、顧客利便施設の運営等)、イベント等及び中小企業者が行う人材育成にかかる事業経費の一部を補助する。			H31年度	内容	①商店街等の共同施設関連事業、共同運営事業、イベント事業、街路灯維持管理事業に補助金を支給 ②商店街・小売市場振興事業補助制度の見直し検討 ③中小企業の人材育成(研修受講)に補助金を支給				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	7.8	うち市負担分(百万円)	7.8	H32年度	継続
													H33年度	継続
													H34年度	継続
													H35年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
17	事業名	小売店舗改築(改装)補助事業												
	目的及び概要	市内の商工業施設の活性化を促進するため、市民や法人が市内で所有又は賃借している小売店舗等(小売業、飲食店、理・美容業、療術業)の改築・改装工事に対して、対象経費の1/2(限度額50万円)を補助する。また、商店街や中心市街地での小売業・飲食業への業種転換や新規出店を行う場合も改築・改装費用の一部を補助する。  【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】			H31年度	内容	①市内で小売業、飲食業、理・美容業、療術業を営んでいる市民又は市内法人が、店舗の改築・改装を行う場合に補助金を支給 ②商店街や中心市街地での小売業・飲食業への業種転換や新規出店する事業者が、店舗の改築・改装を行う場合に補助金を支給				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	6.5	うち市負担分(百万円)	6.5	H32年度	継続
													H33年度	継続
													H34年度	継続
													H35年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
18	事業名	産業活性化プロジェクト促進事業												
	目的及び概要	市内産業の活性化につながる民間の主体的な取組を促進するため、市内で事業を営むものが実施する、事業者や商品のPR事業、新製品開発を行う事業に対し、申請者からの事業提案に基づき、経費の一部を補助する。  【関連取組:5-2-1 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成】			H31年度	内容	①茨木市産業振興アクションプラン推進委員会の意見をもとに対象事業の審査を行い、採択事業に対し補助金を交付				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	1.0	うち市負担分(百万円)	1.0	H32年度	継続
													H33年度	継続
													H34年度	継続
													H35年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
	取組	5-1-4	企業活動への支援											
19	事業名	企業立地支援事業												
	目的及び概要	既存企業の市内での事業継続に資するため、企業訪問を通じて、企業が求める行政情報を把握・提供するとともに、企業支援のワンストップ窓口を設けるなど企業活動を支援している。			H31年度	内容	①企業訪問活動 ②企業が活用できる支援事業等の周知 ③広報誌による市内企業の紹介 ④企業からの相談のワンストップ化				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.5	うち市負担分(百万円)	0.5	H32年度	継続
													H33年度	継続
													H34年度	継続
													H35年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

20	事業名	企業立地促進奨励金事業									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内容	①見直した制度に基づく事業実施。 ②本社機能移転などによる雇用増に対する支援策の検討。						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
										H32年度	継続
										H33年度	継続
										H34年度	継続
方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	391.6	うち市負担分(百万円)	391.6	H35年度	継続				
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
21	事業名	商工会議所事業補助									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内容	①茨木商工会議所が行う、地域産業活性化事業、中小企業相談所事業及び創業支援ネットワーク事業に補助金を交付						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
										H32年度	継続
										H33年度	継続
										H34年度	継続
方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	13.0	うち市負担分(百万円)	13.0	H35年度	継続				
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
22	事業名	経営相談・指導事業									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内容	①創業希望者の開業支援(個別相談) ②市内事業者の経営相談 ③事業所・商店街等への巡回						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
										H32年度	継続
										H33年度	継続
										H34年度	継続
方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	4.3	うち市負担分(百万円)	4.3	H35年度	継続				
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
23	事業名	融資関連補助事業									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内容	①信用保証料補助 ②特定創業支援計画に係る支援を受け、市の証明書の交付を受けた創業者に対して利子を補助 ③大阪北部地震又は平成30年台風21号で被災した事業者に対して利子を補助						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
										H32年度	継続
										H33年度	縮小
										H34年度	縮小
方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	15.3	うち市負担分(百万円)	15.3	H35年度	縮小				
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			

24	事業名 産業情報サイト運営事業									
	目的 及び 概要	産業環境部	課名	商工労政課	H31年度	内容	①サイトの運営 ②サイトの保守管理	事業の方向性の見込み(対前年度比)		
								H32年度	継続	
								H33年度	継続	
								H34年度	継続	
【関連取組:5-1-3 商業の活性化】	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.7	うち市負担分(百万円)	0.7	H35年度	継続		
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
25	事業名 中小企業融資対策事業									
	目的 及び 概要	産業環境部	課名	商工労政課	H31年度	内容	①茨木市中小企業振興資金融資及び大阪府中小企業融資の斡旋 ②セーフティネットに伴う市町村認定	事業の方向性の見込み(対前年度比)		
								H32年度	継続	
								H33年度	継続	
								H34年度	継続	
【関連取組:5-1-4 企業活動への支援】	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H35年度	継続		
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
26	事業名 生産性特別措置法に基づく先端設備等導入計画認定事務事業									
	目的 及び 概要	産業環境部	課名	商工労政課	H31年度	内容	①申請事業者からの先端設備等導入計画の認定	事業の方向性の見込み(対前年度比)		
								H32年度	継続	
								H33年度	継続	
								H34年度	廃止	
【関連取組:5-1-4 企業活動への支援】	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H35年度	-		
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-2	時代の変化を見通した新しい産業をつくり、そだてる
施策の方向性	特区制度や企業立地促進奨励金などの企業支援施策を活用し、バイオ・ライフサイエンス分野など成長産業の集積や幹線道路沿道等での物流施設など本市の地域特性をいかした企業立地を進めます。また、多様なビジネスの創出とともに、育成された人材がいいきと活躍することで、活力がみなぎるまちづくりを進めていきます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	★ 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成
	2	★ 幹線道路沿道での企業立地誘導
	3	★ 特区制度などを活用した企業立地
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-2-1		★ 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成									
1	事業名	◎ 創業促進事業										
	目的及び概要	本市における創業を促進するため、創業促進事業補助制度(テナント賃借料・改装工事費・法人設立に要する経費の一部を補助)、特定創業支援事業(民間の創業支援事業者と連携した創業者支援)をはじめとした創業支援を実施する。  【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】				H31年度	内容	①市内で創業・事業拡大する者に対して補助金を支給 ②民間の創業支援事業者と連携して、創業希望者に支援を行い、証明書を発行する。 ③女性向け起業セミナー(実践編)の継続の必要性を検討 ④学生の起業に対する関心を高めるセミナーの実施 ⑤大阪市内で起業志望者誘致セミナーを実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	21.4	うち市負担分(百万円)	21.4	H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
											H35年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
2	事業名	◎ 産学連携スタートアップ支援事業										
	目的及び概要	市内中小企業者等の優れた技術の掘り起こしやその実用化に向けた取組を促進することで、本市の経済成長及びイノベーション創出に寄与することを目的とし、産学連携による新技術、新製品、新サービスの研究開発等に必要経費の一部を補助する。				H31年度	内容	①中小企業者の具体的な新技術や新製品または新サービスの研究開発、技術革新などに関し、市内大学等と行う連携事業にかかる経費の一部を補助 ②市内大学以外の大学との連携事業も対象とする ③企業と大学との連携機会を創出するため、産学連携交流サロン事業を実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	10.0	うち市負担分(百万円)	10.0	H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
											H35年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
3	事業名	◎ バイオインキュベーション施設集積促進補助事業										
	目的及び概要	バイオインキュベーション施設の集積促進を図り、本市産業の振興に資するため、バイオインキュベーション施設の運営者が行う総合的なインキュベーション支援活動を支援する。				H31年度	内容	①バイオインキュベーション施設集積促進事業に要する経費のうち、施設賃借経費、人件費及び管理経費の一部を助成 ②平成35年9月末の契約期間終了後のあり方について検討				事業の方向性の見込み(対前年度比)
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	23.7	うち市負担分(百万円)	23.7	H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
											H35年度	廃止
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	◎ バイオインキュベーション施設賃料補助事業									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内 容	バイオベンチャー企業の集積を図り、本市産業の振興に資するため、彩都ライフサイエンスパーク内の施設(彩都バイオインキュベータ、大阪府認定施設、彩都バイオインキュベーションセンター)において、ライフサイエンス分野の研究開発を行うバイオベンチャー企業に対して、施設賃料の一部を補助する。						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	15.2	うち市負担分(百万円)	15.2	H32年度	継続
				①バイオインキュベーション施設に入居するバイオベンチャー企業に対して、施設の賃料の一部を補助 ②平成35年9月末の契約期間終了後のあり方について検討						H33年度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H34年度	継続	
									H35年度	廃止	
5	事業名	【再掲】融資関連補助事業									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内 容	中小企業者の融資に係る負担の軽減を図り、中小企業の健全な発展と経営の安定を促進することで市内商工業の振興に資する。 【関連取組:5-2-1 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成】						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(15.3)	うち市負担分(百万円)	(15.3)	H32年度	継続
				①信用保証料補助 ②特定創業支援計画に係る支援を受け、市の証明書の交付を受けた創業者に対して利子を補助 ③大阪北部地震又は平成30年台風21号で被災した事業者に対して利子を補助						H33年度	縮小
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H34年度	縮小	
									H35年度	縮小	
取組	5-2-2	★ 幹線道路沿道での企業立地誘導									
6	事業名	◎ 幹線道路沿道土地利用事業									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内 容	広域幹線道路沿道の市街化調整区域において、地権者等とともに幹線沿道のこれからの時代にふさわしい土地利用を進め、地域のにぎわいづくりと活性化を図る。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力づくり】						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	137.0	うち市負担分(百万円)	137.0	H32年度	継続
				【玉島地区】 ①地区別事業化支援 【目垣地区】 ①関係機関との調整 ②都市計画変更・決定 ③土地区画整理組合設立 ④土地区画整理事業の実施 ※補助金について債務負担行為設定予定(2020年~2023年)						H33年度	継続
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ハード	H34年度	継続	
									H35年度	-	
7	事業名	【再掲】都市計画決定等事務事業									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内 容	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定等を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 【関連取組:5-7-4 都市計画施設の見直し】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(2.9)	うち市負担分(百万円)	(2.9)	H32年度	継続
				①都市計画決定等 ②都市計画マスタープランの見直し						H33年度	継続
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト	H34年度	継続	
									H35年度	継続	

取組	5-2-3		★ 特区制度などを活用した企業立地									
8	事業名 ◎ 茨木市成長産業特区税制における事業計画認定等事務事業							事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
	目的 及び 概要			H 31 年 度	内容 ①成長産業特区における市税の軽減の対象となる 事業計画の認定及び変更認定			H32 年 度	継続			
	地域経済の活性化及び持続的な発展に繋がる成長企業の誘致を図るため、市内の成長産業特区指定区域において、ライフサイエンス分野や新エネルギー分野などの事業を実施する企業の事業計画を認定し、当該企業の法人市民税や固定資産税の軽減を行う。  【関連取組:5-4-2 彩都の都市づくり】							H33 年 度	廃止			
								H34 年 度	-			
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H35 年 度	-
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
9	事業名 ◎ 【再掲】彩都建設推進事業							事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
	目的 及び 概要			H 31 年 度	内容 ①交番の設置要望 ②(東部地区)先行エリアの事業推進 ③(東部地区)残りのエリアの事業化に向けた取り組み支援 ④東部地区C区域の事業推進への支援			H32 年 度	継続			
	大阪の活性化・発展に向けて、大阪府、茨木・箕面市、都市再生機構、民間事業者、経済団体、大学、研究機関、公益団体などの産学官が連携して、魅力と活力ある複合機能都市「彩都」の形成に取り組む。  【関連取組:5-4-2 彩都の都市づくり】 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】							H33 年 度	継続			
								H34 年 度	継続			
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(2.2)	うち市負担分 (百万円)	(2.2)	H35 年 度	継続
担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
10	事業名 【再掲】企業立地促進奨励金事業							事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
	目的 及び 概要			H 31 年 度	内容 ①見直した制度に基づく事業実施。 ②本社機能移転などによる雇用増に対する支援策の検討。			H32 年 度	継続			
	企業の立地や設備投資を促進することにより、地域経済の活性化を図るため、企業等が新たに取得した土地・建物・設備に課される固定資産税・都市計画税額相当額の2分の1を、奨励金として交付する。  【関連取組:5-1-4 企業活動への支援】 【関連取組:5-4-2 彩都の都市づくり】							H33 年 度	継続			
								H34 年 度	継続			
					方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	(391.6)	うち市負担分 (百万円)	(391.6)	H35 年 度	継続
担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-3	就労支援と働きやすい職場づくりをすすめる
施策の方向性	働く意欲はあるが就労にあたり困難な要因を抱える人(就職困難者)や不安定な就労を余儀なくされている人の能力と希望に応じた就労を支援する施策に取り組みます。また、市内の事業所において、働く人々が安心して、いきいきと働くことができる職場づくりを促進する施策に取り組みます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	★ 就労の支援
	2	★ 働きやすい職場づくりの推進
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-3-1		★ 就労の支援						
1	事業名	◎ 就職サポート事業							
	目的及び概要	H31年度	内容	事業の方向性の見込み(対前年度比)					
	就労支援などを行う関係機関と連携し、就職困難者等の職業的自立を目指すため、就職相談、講習会・セミナーの実施や職業訓練校等への誘導、合同就職面接会の開催など就職に向けた支援を行う。			①就職や労働問題に対する仕事なんでも相談 ②就職困難者の職業能力を開発する講座開催や講座受講費用の補助 ③求職者と地元企業をつなぐ企業説明会・見学会や、直接就職に結びつく合同就職面接会の開催 ④就労を体験する事業の実施 ⑤在宅での就労を希望される方向けのセミナーを開催	H32年度	継続			
		方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	8.3	うち市負担分(百万円)	5.7	H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト
2	事業名	雇用促進奨励金事業							
	目的及び概要	H31年度	内容	事業の方向性の見込み(対前年度比)					
	市民の安定就労に資するため、市民を雇用した市内事業所に対し奨励金を交付する。			①失業中の市民等を正規雇用、又は非正規労働者を正規労働者に転換した市内中小企業者及び働きやすい職場づくり認定事業者に対し奨励金を交付	H32年度	継続			
		方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	10.9	うち市負担分(百万円)	10.9	H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト
3	事業名	障害者雇用奨励金事業							
	目的及び概要	H31年度	内容	事業の方向性の見込み(対前年度比)					
	障害者雇用を促進し、障害者の自立の助長と福祉の増進を図るため、障害のある市民を雇用する事業主に対して、奨励金を支給する。			①障害のある市民を雇用し、国の特別求職者雇用開発助成金を受給する事業主に対して、奨励金を支給	H32年度	継続			
		方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	2.9	うち市負担分(百万円)	2.9	H33年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取組	5-3-2		★ 働きやすい職場づくりの推進								
4	事業名	◎ 雇用・労働関係セミナー及び労働に関する啓発事業									
	目的及び概要	健全な雇用関係の確立及び働きやすい職場環境の実現を図るため、セミナーを開催するとともに、公正な採用選考、障害者・高齢者雇用促進などの啓発活動を実施している。	H31年度	内容	①労働法制等の理解を深め、労働関係の安定を図るセミナーの開催 ②障害者等の雇用促進や働きやすい職場づくりのための啓発活動 ③働きやすい職場づくりを支援するセミナーの開催	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H32年度	継続			
							H33年度	継続			
							H34年度	継続			
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.7	うち市負担分(百万円)	0.7	H35年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
5	事業名	茨木市勤労者互助会補助事業									
	目的及び概要	パートタイマーを含む従業員の福祉の増進、および事業所における雇用の安定を図るため、勤労者互助会が行う勤労者福祉増進のための事業に対し補助金を支給する。	H31年度	内容	①勤労者互助会が行う勤労者福祉増進のための事業に対し補助金を支給	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H32年度	継続			
							H33年度	継続			
							H34年度	継続			
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	5.0	うち市負担分(百万円)	5.0	H35年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
6	事業名	勤労者スキルアップ支援等セミナー									
	目的及び概要	勤労者の能力向上や勤労者福祉の増進を図るため、勤労者の知識・技能の向上、中小企業の人材育成につながるセミナーを開催している。	H31年度	内容	①勤労者の知識・技能の向上、中小企業の人材育成につながるセミナーの開催	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H32年度	継続			
							H33年度	継続			
							H34年度	継続			
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.3	うち市負担分(百万円)	0.3	H35年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
7	事業名	◎ 働きやすい職場づくり推進事業									
	目的及び概要	勤労者の福祉の向上を図るため、両立支援や福利厚生充実など働きやすい職場づくりに取組む事業主に支援を行う	H31年度	内容	①両立支援等の働きやすい職場づくりを推進する事業所の認定 ②働きやすい職場づくり推進事業所として認定した事業所について、PRや雇用にかかる奨励金制度の優遇等のインセンティブの実施	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H32年度	継続			
							H33年度	継続			
							H34年度	廃止			
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.1	うち市負担分(百万円)	0.1	H35年度	-
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-4	地域特性をいかした都市づくりを計画的にすすめる
施策の方向性	広域的な都市基盤施設の充実を図るとともに、計画的な市街地整備や地域特性をいかした土地利用の誘導を図り、強み(ポテンシャル)をいかした整備を推進します。また、住、働、学、憩という都市において行われる機能を備えた都市づくりを進め、活力と魅力の増進に取り組みます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	計画的な都市基盤整備や市街地整備
	2	★ 彩都の都市づくり
	3	適切な開発や建築物・土地利用の誘導
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-4-1	計画的な都市基盤整備や市街地整備									
1	事業名	【再掲】都市計画決定等事務事業									
	目的及び概要	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定・変更を行う。 【関連取組:5-2-2 幹線道路沿道での企業立地誘導】 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 【関連取組:5-7-4 都市計画施設の見直し】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H31年度	内容	①都市計画決定等 ②都市計画マスタープランの見直し	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H32年度	継続			
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(2.9)	うち市負担分(百万円)	(2.9)	H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
2	事業名	【再掲】立地適正化計画策定事業									
	目的及び概要	関係課連携のもと立地適正化計画の運用を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H31年度	内容	①計画の運用 (まちづくりアドバイザー派遣制度の活用などにより、暮らしやすさの維持・充実に向けた住民主体の取組みへの支援を行う) ②届出制度の運用	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H32年度	継続			
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0.2)	うち市負担分(百万円)	(0.2)	H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
3	事業名	【再掲】次なる茨木・グランドデザイン推進事業									
	目的及び概要	中心市街地におけるまちの将来像を描いた「次なる茨木・グランドデザイン」を示し、多くの市民や多様な主体と共有・発展させながら、担い手の発見など、まちづくりに関係する人を増やす。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)】	H31年度	内容	①まちづくりをテーマにしたワークショップやその実践などを通じて、市民(プレーヤー)との継続的な関わりを『クラウド会議』というかたちで具体化 ②大学と連携したまちづくり勉強会	事業の方向性の見込み(対前年度比)	H32年度	継続			
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0.2)	うち市負担分(百万円)	(0.2)	H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名 【再掲】茨木市中心市街地活性化事業											
	目的 及び 概要	本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化に関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点としての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 31 年度	内容	①関係各課において計画掲載事業実施 ②基本計画定期フォローアップ報告 ③まちづくり会社設立準備金 まちづくり会社出資金(資本金) 300万円 ④まちづくり会社補助金 運営支援金補助 2,075万円 事業支援金補助 260万円				事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(26.4)	うち市負担分 (百万円)	(26.4)	H32 年度	継続
											H33 年度	継続
											H34 年度	継続
											H35 年度	継続
担当課	部名	都市整備部		課名	市街地新生課		会計区分	一般		事業区分	ソフト	
5	事業名 【再掲】幹線道路沿道土地利用事業											
	目的 及び 概要	広域幹線道路沿道の市街化調整区域において、地権者等とともに幹線沿道のこれからの時代にふさわしい土地利用を進め、地域のにぎわいづくりと活性化を図る。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力づくり】			H 31 年度	内容	【玉島地区】 ①地区別事業化支援 【目垣地区】 ①関係機関との調整 ②都市計画変更・決定 ③土地区画整理組合設立 ④土地区画整理事業の実施 ※補助金について債務負担行為設定予定(2020年~2023年)				事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(137)	うち市負担分 (百万円)	(137)	H32 年度	継続
											H33 年度	継続
											H34 年度	継続
											H35 年度	継続
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分	一般		事業区分	ハード	
6	事業名 【再掲】エリアマネジメント推進検討事業											
	目的 及び 概要	既成市街地や新たな開発において、住民・事業者・地権者等の地域の担い手が主体となった将来の維持管理や運営(マネジメント)等の実現に向けた取組を推進する。 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 31 年度	内容	①関係部署・関係機関との協議 ②市民・民間との連携・協働				事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H32 年度	継続
											H33 年度	継続
											H34 年度	継続
											H35 年度	継続
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分	一般		事業区分	ソフト	
7	事業名 【再掲】低炭素都市づくり推進事業											
	目的 及び 概要	スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりを促進するなど、環境にやさしいライフスタイルを実現し、低炭素都市づくりを進めていきます。 また、東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業実現化に向け協議を行っていきます。 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H 31 年度	内容	①スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりの促進 ②東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業に関する協議				事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(0)	うち市負担分 (百万円)	(0)	H32 年度	継続
											H33 年度	継続
											H34 年度	継続
											H35 年度	継続
担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分	一般		事業区分	ソフト	

取組	5-4-2	★ 彩都の都市づくり											
8	事業名	◎ 彩都建設推進事業											
	目的及び概要	大阪の活性化・発展に向けて、大阪府、茨木・箕面市、都市再生機構、民間事業者、経済団体、大学、研究機関、公益団体などの産学官が連携して、魅力と活力ある複合機能都市「彩都」の形成に取り組む。 【関連取組:5-2-3 特区制度などを活用した企業立地】 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H31年度	内容 ①交番の設置要望 ②(東部地区)先行エリアの事業推進 ③(東部地区)残りのエリアの事業化に向けた取り組み支援 ④東部地区C区域の事業推進への支援				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	2.2	うち市負担分(百万円)	2.2	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	継続
												H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
9	事業名	【再掲】山麓線整備事業											
	目的及び概要	市域山麓部の東西交通と彩都地区のアクセスの円滑化を図るため、彩都や安威川ダムの事業進捗に合わせ、府道茨木亀岡線から彩都東部地区、府道忍頂寺福井線、府道余野次木線を経て、中部地区、西部地区へと至る道路の整備を行う。 【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】				H31年度	内容 ①委託 C= 3.0百万円 ②工事 C=140.0百万円 ③負担金 C= 2.0百万円 ④用地費 C=120.0百万円				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
						方向性(対前年度比)	完了	事業費(百万円)	(265)	うち市負担分(百万円)	(220)	H32年度	-
												H33年度	-
												H34年度	-
												H35年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ハード			
10	事業名	谷山水路整備事業											
	目的及び概要	彩都東部地区の一部エリアの事業化に伴い、区域外の雨水放流先となる谷山水路の流下能力が不足しているため、下流河川(佐保川)と同程度の流下能力(10年確率)とするための整備を行う				H31年度	内容 ①水路及び管理道路用地購入 ②公共嘱託登記				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
						方向性(対前年度比)	完了	事業費(百万円)	33.2	うち市負担分(百万円)	33.2	H32年度	-
												H33年度	-
												H34年度	-
												H35年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	下水道施設課	会計区分	一般		事業区分	ハード			
取組	5-4-3	適切な開発や建築物・土地利用の誘導											
11	事業名	都市計画決定等事務事業											
	目的及び概要	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定等を行う。 【関連取組:5-2-2 幹線道路沿道での企業立地誘導】 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 【関連取組:5-7-4 都市計画施設の見直し】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H31年度	内容 ①都市計画決定等 ②都市計画マスタープランの見直し				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	2.9	うち市負担分(百万円)	2.9	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	継続
												H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			

12	事業名 細街路等整備事業									
	目的 及び 概要	開発許可、道路位置指定、建築行為等に対し、細街路計画及び生活道路整備に沿う指導を行い、基準に基づき用地費、工事費等の助成を行い整備を進め、良好な住環境を創出する。  【関連取組:5-5-1 快適で良好な住環境の形成】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 31 年度	内容  ①用地購入費 ②整備補助金 ③公囀	事業の方向性 の見込み (対前年度比)					
					H32 年度	継続				
					H33 年度	継続				
					H34 年度	継続				
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	123.4	うち市負担分 (百万円)	123.4	H35 年度	継続			
担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
13	事業名 開発行為等連絡協議会事務事業									
	目的 及び 概要	無秩序な都市化を防止し、適正な開発を図り、都市計画の推進及び環境との調和創出するため、一定規模以上の建築を目的とする開発行為に対し協議調整を行う。	H 31 年度	内容  ①開発行為等連絡協議会の開催(0.0百万円)	事業の方向性 の見込み (対前年度比)					
					H32 年度	継続				
					H33 年度	継続				
					H34 年度	継続				
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H35 年度	継続			
担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-5	良好で住みよい環境・景観づくりをすすめる
施策の方向性	市民、事業者等による開発や施設の管理が良好な環境を形成することを基本に、住みよいまちを創るため、計画の共有、ルールの作成、適正な運用と適時適切な見直し、住民への支援などを行い、快適な住環境や美しい街並みが魅力的で将来にわたり住み続けたいまちをめざします。 また、緑地の適正な保全と緑化を推進し、自然とのふれあいやみどりをいかしたうるおいのある環境づくりをめざします。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	快適で良好な住環境の形成
	2	都市におけるみどりの形成
	3	★ 良好な景観の保全と創造
	4	良好な住宅ストックの形成
	5	公的住宅の改善・充実
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-5-1	快適で良好な住環境の形成											
1	事業名	【再掲】細街路等整備事業											
	目的及び概要	開発許可、道路位置指定、建築行為等に対し、細街路計画及び生活道路整備に沿う指導を行い、基準に基づき用地費、工事費等の助成を行い整備を進め、良好な住環境を創出する。 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H31年度	内容 ①用地購入費 ②整備補助金 ③公囀			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(123.4)	うち市負担分(百万円)	(123.4)	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	継続
												H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
2	事業名	中高層建築物事前協議等事業											
	目的及び概要	生活環境の保全や良好な近隣関係を形成するため、茨木市開発指図書要綱及び茨木市中高層建築物に係る紛争の防止及び調整に関する指図書要綱に基づく協議を行う。				H31年度	内容 ①建築主による関係住民への建築計画内容等の説明を指導(0.0百万円) ②要綱に基づく協議(0.0百万円) ③建築に伴って生じる紛争について当事者からの申し出により「あっせん」を行う(0.0百万円)			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	継続
												H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
3	事業名	建築基準法制度活用事業											
	目的及び概要	快適で良好な住環境の形成を図るとともに、老朽化・密集化した建築物等の円滑な建替えと周辺環境への配慮が両立するよう、建築協定や地区計画条例など建築基準法の諸制度の活用を促進する。				H31年度	内容 ①老朽化したマンションや病院等の建替え相談において、建築基準法の諸制度の活用を紹介(0.0百万円)			事業の方向性の見込み(対前年度比)			
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	継続
												H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	高度地区運用事務事業									
	目的 及び 概要	H 31 年 度	内 容	①特例許可申請書の審査を行い、建築審査会の意見を聞いた上で許可処分を行う(0.0百万円)						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H32年度	継続
				H33年度	継続						
H34年度	継続										
H35年度	継続										
担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
取組	5-5-2	都市におけるみどりの形成									
5	事業名	元茨木川緑地リ・デザイン事業									
	目的 及び 概要	H 31 年 度	内 容	①元茨木川緑地リ・デザイン検討 5.6百万円 ②樹木健全度調査 35.1百万円						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	40.7	うち市負担分(百万円)	40.7	H32年度	継続
				H33年度	継続						
H34年度	継続										
H35年度	継続										
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
6	事業名	公園等再整備事業									
	目的 及び 概要	H 31 年 度	内 容	①公園再整備等 5箇所(若園公園、内瀬東区画整理2号公園、竹橋公園、玉櫛区画整理公園、中村公園) 120.85百万円 ②地元調整 ③実施設計 11百万円						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	131.9	うち市負担分(百万円)	104.0	H32年度	縮小
				H33年度	継続						
H34年度	継続										
H35年度	継続										
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般	事業区分	ハード			
7	事業名	さくらまつり実施事業									
	目的 及び 概要	H 31 年 度	内 容	①市民活動や市民主体の催しの場としての活用を関係課と検討 ②周辺住民に配慮し改善して実施 ③自然な状態で桜を楽しめるよう改善						事業の方向性の見込み(対前年度比)	
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	16.9	うち市負担分(百万円)	16.9	H32年度	継続
				H33年度	継続						
H34年度	継続										
H35年度	継続										
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			

8	事業名	若園公園バラ園再整備事業									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内 容	若園公園バラ園において、バラ苗木の老化による樹勢の衰えが顕著となっているため、苗木の更新及び植栽基盤の整備と併せ地下透水管等の施設の再整備を実施する。						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				①苗木更新、植栽基盤整備 900万円 ②休養施設、園路整備 3,100万円 ③ベンチ・バラソル購入 235万円						H32 年度	-
										H33 年度	-
										H34 年度	-
方向性 (対前年度比)	完了	事業費 (百万円)	42.4	うち市負担分 (百万円)	42.4	H35 年度	-				
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般	事業区分	ハード			
9	事業名	公園施設長寿命化対策事業									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内 容	公園等の施設の長寿命化を図る。 (長寿命化のための公園施設データの収集・整理・保管・更新のためのシステム構築など。)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				①保守管理 0.4百万円						H32 年度	継続
										H33 年度	継続
										H34 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.4	うち市負担分 (百万円)	0.4	H35 年度	継続				
担当課	部名	建設部	課名	公園緑地課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
10	事業名	【再掲】緑の基本計画推進事業									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内 容	緑の将来像の実現に向けて、緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する目標や取り組み方針、施策等を定め、総合的かつ計画的に実施する。  【関連取組:6-2-1 都市とみどりの共存】						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				①花と緑の街角づくり推進事業 708万円 ②民有地緑化助成事業 105万円 ③緑の相談事業 26万円 ④緑の勉強会の実施 6万円 ⑤バラせん定実技講習会の実施 23万円 ⑥バラセミナーの実施 25万円 ⑦みどり活用の試行を支援						H32 年度	拡充
										H33 年度	継続
										H34 年度	継続
方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	(8.9)	うち市負担分 (百万円)	(8.9)	H35 年度	継続				
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
11	事業名	新名神周辺遊歩道等整備事業									
	目的 及び 概要	H 31 年度	内 容	市民に北部地域の自然等の魅力を実感してもらい、北部地域への関心を高めるため、地域住民、ボランティア団体と連携し、回遊路・施設案内板等の維持管理を行う。						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				①展望台の維持管理 0.5万円 ②ピオトープの維持管理 188万円						H32 年度	継続
										H33 年度	継続
										H34 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	1.9	うち市負担分 (百万円)	0.0	H35 年度	継続				
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			

12	事業名	ダムサイト周辺遊歩道等整備事業										
	目的 及び 概要	水源地域整備計画に基づき、安威川ダム周辺の遊歩道等を整備する。	H 31 年度	内 容	①H33年度に実施予定						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H32 年度	継続
											H33 年度	完了
								H34 年度	-			
担当課	部名	産業環境部	課名	農とみどり推進課	会計区分	一般	事業区分	ハード				
取組	5-5-3	★ 良好な景観の保全と創造										
13	事業名	◎ 景観形成推進事務事業										
	目的 及び 概要	都市景観整備を総合的かつ計画的に推進するため、茨木市景観計画及び景観条例に基づき協議、指導等を行う。計画見直しや重要建造物等の指定などを検討する。	H 31 年度	内 容	①景観の事前協議、届出受付 ②中心市街地における公共空間を中心とした景観のあり方の検討を進める。						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.3	うち市負担分 (百万円)	0.3	H32 年度	継続
											H33 年度	継続
								H34 年度	継続			
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
14	事業名	◎ 屋外広告物指導事業										
	目的 及び 概要	良好な景観誘導を進めるため、屋外広告物の設置の適切な誘導を図る。	H 31 年度	内 容	①屋外広告物申請許可事務 ②屋外広告物条例制定に向けたスケジュールや内容について検討を進める。						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H32 年度	継続
											H33 年度	継続
								H34 年度	継続			
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
15	事業名	樹木健全度緊急調査事業										
	目的 及び 概要	樹木の倒伏による市民の生命・財産に関わる事故を未然に防止するとともに、みどりの機能を増進することによって、まちを良好な状態に保持するため、街路樹及び公園樹の健全度を調査する。また、茨木市緑の基本計画に基づき樹木の維持管理を計画的に進めるため、(仮称)茨木市道路・公園樹木適正管理指針を策定する。	H 31 年度	内 容	①街路樹・公園樹の樹木診断、管理指針の策定について、関係課で検討委員会を開催						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	新規	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H32 年度	継続
											H33 年度	継続
								H34 年度	継続			
担当課	部名	建設部	課名	建設管理課、公園緑地	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

取組	5-5-4	良好な住宅ストックの形成													
16	事業名	◎【再掲】既存民間建築物耐震化補助事業													
	目的及び概要	地震災害から市民の生命及び財産を守るため、民間の住宅・特定建築物の耐震診断費用及び木造住宅、共同住宅の耐震改修費用の一部を補助する。  【4-1-3:建築物の耐震化の促進】				H31年度	内容	①木造住宅等の耐震診断・改修補助を行う。 ②非木造住宅・特定建築物の耐震診断補助を行う。 ③共同住宅の耐震改修・除却補助を行う。 ④コンクリートブロック塀対象調査の実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	拡充	事業費(百万円)	(111.5)	うち市負担分(百万円)	(49.5)	H32年度	継続
														H33年度	継続
														H34年度	継続
														H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	居住政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
17	事業名	居住マスタープラン策定事業													
	目的及び概要	人口減少、少子・高齢化等に伴う社会状況の変化や活力低下、また、建築物の老朽化等による災害リスクの増大などの課題に対応するため、市民生活の基盤である住宅や住環境の維持・充実と定住促進を図る計画として、本市の住宅政策の方針と施策を示し、市民の暮らしの充実と安定した住生活の実現を目指す。				H31年度	内容	①住宅施策の方針等の検討、整理 ②成果指標、計画推進方策等の検討 ③パプコメ ④居住マスタープランの作成				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	臨時拡充	事業費(百万円)	8.0	うち市負担分(百万円)	8.0	H32年度	継続
														H33年度	継続
														H34年度	継続
														H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	居住政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
18	事業名	多世代近居・同居支援事業													
	目的及び概要	多世代の近居・同居に向けた住宅取得やリフォームに対して補助を行うことで、多世代が支えあって暮らせるまちづくりを進め、子育てや介護など、各世代が抱える不安の軽減を図るとともに、定住促進を図る。				H31年度	内容	①茨木市多世代近居・同居支援事業補助の実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	縮小	事業費(百万円)	12.0	うち市負担分(百万円)	12.0	H32年度	継続
														H33年度	継続
														H34年度	継続
														H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	居住政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						
19	事業名	長期優良住宅認定事務事業													
	目的及び概要	長期にわたり良好な状態で使用されるための措置が講じられた優良な住宅の普及を促進することにより、住生活の向上及び環境への負荷の軽減を図るため、長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づき、長期優良住宅建築等計画の認定を行う。				H31年度	内容	①長期優良住宅新築等計画の審査をし、認定を行う。(0.0百万円) ②認定を受けた長期優良住宅で一定の年数が経過したものについて、維持保全状況の報告を求める。(0.0百万円)				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H32年度	継続
														H33年度	継続
														H34年度	継続
														H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般	事業区分	ソフト						

取組	5-5-5	公的住宅の改善・充実												
20	事業名	市営住宅長寿命化計画推進事業												
	目的及び概要	市営住宅を安全で安心な住まいとして長期間にわたって確保するため、耐震改修や長寿命化改善など適切な維持管理を実施することにより、効率的・効果的な活用に努める。				H31年度	内容				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
							①平成29年度に改修設計を行った外壁改修、屋上防水工事等を実施(140百万円/2棟) ②外壁改修、屋上防水等の改善設計(6百万円/2棟) ③給排水等の改善設計(27百万円/18棟)				H32年度	継続		
											H33年度	継続		
											H34年度	継続		
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	173.0	うち市負担分(百万円)	147.0	H35年度	継続
担当課	部名	建設部		課名	建築課		会計区分	一般		事業区分	ハード			

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-6	時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくりをすすめる
施策の方向性	将来にわたって住み続けたい、さらに活力ある都市として成長・発展させていくという視点から都市構造を捉え、生活を支える都市機能を維持・向上させるとともに、中心部における魅力ある地域、拠点への再生、北部地域をはじめとする豊かな文化、自然資源等をいかし効果を高める取組などにより、これからの時代を先導する活力あるまちづくりを進めます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	★ 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)
	2	★ 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備
	3	(仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり
	4	★ 北部地域の魅力向上
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-6-1		★ 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)										
1	事業名	◎ 立地適正化計画推進事業											
	目的及び概要	関係課連携のもと立地適正化計画の運用を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H31年度	内容 ①計画の運用 (まちづくりアドバイザー派遣制度の活用などにより、暮らしやすさの維持・充実に向けた住民主体の取組みへの支援を行う) ②届出制度の運用				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.2	うち市負担分(百万円)	0.2	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	継続
												H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分	一般		事業区分	ソフト	
2	事業名	【再掲】次なる茨木・グランドデザイン推進事業											
	目的及び概要	中心市街地におけるまちの将来像を描いた「次なる茨木・グランドデザイン」を示し、多くの市民や多様な主体と共有・発展させながら、担い手の発見など、まちづくりに関係する人を増やす。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H31年度	内容 ①まちづくりをテーマにしたワークショップやその実践などを通じて、市民(プレーヤー)との継続的な関わりを『クラウド会議』というかたちで具体化 ②大学と連携したまちづくり勉強会				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0.2)	うち市負担分(百万円)	(0.2)	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	継続
												H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部		課名	都市政策課		会計区分	一般		事業区分	ソフト	
3	事業名	◎ 【再掲】茨木市中心市街地活性化事業											
	目的及び概要	本市中心市街地の活性化を図るため、「中心市街地活性化に関する法律」に基づく、「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点としての機能配置を踏まえたものとする。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H31年度	内容 ①関係各課において計画掲載事業実施 ②基本計画定期フォローアップ報告 ③まちづくり会社設立準備金 まちづくり会社出資金(資本金) 300万円 ④まちづくり会社補助金 運営支援金補助 2,075万円 事業支援金補助 260万円				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(26.4)	うち市負担分(百万円)	(26.4)	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	継続
												H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部		課名	市街地新生課		会計区分	一般		事業区分	ソフト	

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取組	5-6-2		★ 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備									
4	事業名	◎【再掲】立地適正化計画推進事業										
	目的及び概要	関係課連携のもと立地適正化計画の運用を行う。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H31年度	内容	①計画の運用			事業の方向性の見込み(対前年度比)				
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0)	うち市負担分(百万円)	(0)	H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
											H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
5	事業名	◎次なる茨木・グランドデザイン推進事業										
	目的及び概要	中心市街地におけるまちの将来像を描いた「次なる茨木・グランドデザイン」を示し、多くの市民や多様な主体と共有・発展させながら、担い手の発見など、まちづくりに関係する人を増やす。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H31年度	内容	①まちづくりの話題をテーマにした「クラウド。」 ②大学と連携したまちづくり勉強会			事業の方向性の見込み(対前年度比)				
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.2	うち市負担分(百万円)	0.2	H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
											H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
6	事業名	◎阪急茨木市駅西口駅前周辺整備事業										
	目的及び概要	市の玄関口である西口駅前周辺において、交通結節点の機能強化とともに、多くの市民が集える空間として、活性化を図り、魅力あるまちづくりの実現を図る。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H31年度	内容	①事業調整業務等 552万円 1関係者協議(国・府・警察等) 2概算事業費算出・事業計画の調整 3まちづくり学集会運営支援 4学集会報告書作成			事業の方向性の見込み(対前年度比)				
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	5.6	うち市負担分(百万円)	5.6	H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
											H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
7	事業名	【再掲】小売店舗改築(改装)補助事業										
	目的及び概要	市内の商工業施設の活性化を促進するため、市民や法人が市内で所有又は賃借している小売店舗等(小売業、飲食店、理・美容業、療術業)の改築・改装工事に対して、対象経費の1/2(限度額50万円)を補助する。また、商店街や中心市街地での小売業・飲食業への業種転換や新規出店を行う場合も改築・改装費用の一部を補助する。 【関連取組:5-1-3 商業の活性化】	H31年度	内容	①市内で小売業、飲食業、理・美容業、療術業を営んでいる市民又は市内法人が、店舗の改築・改装を行う場合に補助金を支給 ②商店街や中心市街地での小売業・飲食業への業種転換や新規出店する事業者が、店舗の改築・改装を行う場合に補助金を支給			事業の方向性の見込み(対前年度比)				
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(6.5)	うち市負担分(百万円)	(6.5)	H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
											H35年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			

8	事業名	JR茨木駅西口駅前周辺整備事業										
	目的及び概要	市の玄関口である西口駅前周辺において、交通結節点の機能強化とともに、多くの市民が集える空間として、活性化を図り、魅力あるまちづくりの実現を図る。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】			H31年度	内容	①協議会運営支援業務 767万円 1まちづくり協議会運営支援 2再整備計画提案者選定支援業務 3再整備計画提案に伴う計画協議				事業の方向性の見込み(対前年度比)	
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	7.7	うち市負担分(百万円)	7.7	H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
											H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分	ソフト		
9	事業名	◎【再掲】商工会議所事業補助										
	目的及び概要	市内の新産業の創出・育成並びに既存産業の成長・発展を促進するため、茨木商工会議所が行う市内産業の総合的発展に資する事業に対して補助金を交付する。 【関連取組:5-1-3 商業の活性化】 【関連取組:5-1-4 企業活動への支援】			H31年度	内容	①茨木商工会議所が行う、地域産業活性化事業、中小企業相談所事業及び創業支援ネットワーク事業に補助金を交付				事業の方向性の見込み(対前年度比)	
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(13)	うち市負担分(百万円)	(13)	H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
											H35年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト		
10	事業名	【再掲】創業促進事業										
	目的及び概要	本市における創業を促進するため、創業促進事業補助制度(テナント賃借料・改装工事費・法人設立に要する経費の一部を補助)、特定創業支援事業(民間の創業支援事業者と連携した創業者支援)をはじめとした創業支援を実施する。 【関連取組:5-2-1 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成】			H31年度	内容	①市内で創業・事業拡大する者に対して補助金を支給 ②民間の創業支援事業者と連携して、創業希望者に支援を行い、証明書を発行する。 ③女性向け起業セミナー(実践編)の継続の必要性を検討 ④学生の起業に対する関心を高めるセミナーの実施 ⑤大阪市内で起業志望者誘致セミナーを実施				事業の方向性の見込み(対前年度比)	
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(21.4)	うち市負担分(百万円)	(21.4)	H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
											H35年度	継続
	担当課	部名	産業環境部	課名	商工労政課	会計区分	一般		事業区分	ソフト		
11	事業名	【再掲】市民会館跡地エリア活用事業(ソフト)										
	目的及び概要	閉館した市民会館の跡地エリアについて、市民との対話を基本に、市中心部に位置するという立地や、社会情勢、政策課題などをふまえて、その活用を検討、推進する。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:7-2-4 公共施設等の計画的な整備と資産の有効活用】			H31年度	内容	①実施方針作成 ②募集要項・要求水準書作成 ③事業者公募 ④事業者選定・契約 ⑤市民会館跡地エリア活用シンポジウム ⑥都市再生整備計画作成				事業の方向性の見込み(対前年度比)	
					方向性(対前年度比)	臨時拡充	事業費(百万円)	(25)	うち市負担分(百万円)	(25)	H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
											H35年度	-
	担当課	部名	企画財政部	課名	市民会館跡地活用推進	会計区分	一般		事業区分	ソフト		

12	事業名	◎ 茨木市中心市街地活性化事業											
	目的及び概要	<p>中心市街地の活性化を図るため「中心市街地活性化に関する法律」に基づく「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。 また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け、都市拠点としての機能配置を踏まえたものとする。【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)】【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】</p>				H31年度	<p>内容</p> <p>①関係各課において計画掲載事業実施 ②基本計画定期フォローアップ報告 ③まちづくり会社設立準備金 まちづくり会社出資金(資本金) 300万円 ④まちづくり会社補助金 運営支援金補助 2,075万円 事業支援金補助 260万円</p>				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	26.4	うち市負担分(百万円)	26.4	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	継続
												H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			
13	事業名	【再掲】市民会館跡地エリア活用事業(ハード)											
	目的及び概要	<p>閉館した市民会館の跡地エリアについて、市民との対話を基本に、市中心部に位置するという立地や、社会情勢、政策課題などをふまえ、その活用を検討、推進する。 【関連取組:3-3-2 文化芸術とふれる・感じる・つながる「場」づくり】 【関連取組:7-2-4 公共施設等の計画的な整備と資産の有効活用】</p>				H31年度	<p>内容</p> <p>①元市民会館・人工台地解体工事 ②グラウンド拡張設計 ③南グラウンド地質調査等 ④暫定広場設計</p>				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(810.4)	うち市負担分(百万円)	(810.4)	H32年度	拡充
												H33年度	継続
												H34年度	臨時拡充
												H35年度	臨時拡充
	担当課	部名	企画財政部	課名	市民会館跡地活用推進	会計区分	一般		事業区分	ハード			
	取組	5-6-3	(仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり										
14	事業名	阪急総持寺駅西口駅前交通広場整備事業											
	目的及び概要	<p>平成30年春に開業したJR総持寺駅の整備効果をより活かすため、阪急総持寺駅西口に駅前交通広場を整備することにより、総持寺地域の交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図る。</p>				H31年度	<p>内容</p> <p>①委託 C= 16.4百万円 (物件調査、公囀)</p>				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	16.4	うち市負担分(百万円)	16.4	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	完了
												H35年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般		事業区分	ハード			
	取組	5-6-4	★ 北部地域の魅力向上										
15	事業名	◎ 北部魅力アップ事業											
	目的及び概要	<p>本市北部地域にある緑豊かな自然環境や歴史環境、開通した新名神高速道路をはじめ、事業推進している安威川ダム、彩都の大規模プロジェクトなどの資源をつなぐとともに、地域課題や地域のあり方も踏まえ、北部地域の魅力向上を図るための検討と取組を地域や関係団体とともに進める。 【関連取組:3-4-2 観光情報の発信を強化】 【関連取組:5-6-4 北部地域の魅力向上】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】</p>				H31年度	<p>内容</p> <p>①魅力向上事業 (資源や人、組織との連携強化と対話の推進、プロモーション展開) ・「いばきた」フォトサイクリングの実施 ・いばきたデザインプロジェクトの実施 ・いばきたマルシェの開催 ・その他山とまちをつなぐ取組の実施</p>				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
						方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	6.0	うち市負担分(百万円)	6.0	H32年度	継続
												H33年度	継続
												H34年度	継続
												H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト			

16	事業名	◎ ダム周辺整備事業													
	目的及び概要	<p>早期の治水効果発現を目指して建設中の安威川ダムにおいて、ダム完成後の周辺の魅力向上につながる整備を実施するための取り組みを進める。</p> <p>【関連取組:3-4-1 観光資源の発掘とネットワーク化の推進】</p> <p>【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】</p>				H31年度	内容	<p>①事業者公募</p> <p>②ダム湖畔展望広場整備事業(用地買収)</p> <p>③権内せせらぎ広場整備事業(測量)</p>				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	67.7	うち市負担分(百万円)	33.1	H32年度	継続
														H33年度	完了
														H34年度	-
														H35年度	-
	担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分	一般		事業区分	ハード			
17	事業名	【再掲】ダム周辺道路整備事業													
	目的及び概要	<p>水源地域整備計画に基づき、安威川ダム周辺の道路整備事業を推進する。</p> <p>【関連取組:4-1-6 安威川ダムによる治水対策】</p>				H31年度	内容	<p>①スポレク関連道路事業(車作1号線) C=75.0百万円</p>				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(75)	うち市負担分(百万円)	(5.6)	H32年度	継続
														H33年度	完了
														H34年度	-
														H35年度	-
	担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ハード			
18	事業名	【再掲】ダム推進事業													
	目的及び概要	<p>安威川流域住民の生命と財産を守り、安全なまちづくりの推進に必要な安威川ダムについて、大阪府等と連携を図り、事業の建設促進を図る。</p> <p>【関連取組:4-1-6 安威川ダムによる治水対策】</p>				H31年度	内容	<p>①建設促進</p>				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0)	うち市負担分(百万円)	(0)	H32年度	継続
														H33年度	完了
														H34年度	-
														H35年度	-
	担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分	一般		事業区分	ソフト			
19	事業名	【再掲】千提寺菱ヶ谷遺跡史跡整備事業													
	目的及び概要	<p>千提寺菱ヶ谷遺跡の歴史的資産としての価値を評価するために調査を行い、北部地域活性化の一つの拠点としても活用するため、史跡指定に向けて取り組む。</p> <p>【関連取組:3-3-4 歴史遺産の保存・継承】</p>				H31年度	内容	<p>①遺跡整備に向け検討</p> <p>②遺跡の市史跡指定に向けた調査・研究</p>				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
								方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0)	うち市負担分(百万円)	(0)	H32年度	継続
														H33年度	継続
														H34年度	継続
														H35年度	継続
	担当課	部名	教育総務部		課名	歴史文化財課		会計区分	一般		事業区分	ハード			

20	事業名	【再掲】新名神周辺道路等整備事業										
	目的 及び 概要	新名神関連事業として、千提寺地区の自然環境、歴史、文化資源等の恵まれた地域資源を活かして、都市住民との交流を促進する空間を整備することにより地域の活性化を図る。また、新名神高速道路の供用開始に伴い通過交通が増加するため、市道の拡幅を行うことにより歩行者、車両等の安全を確保する。  【関連取組:5-8-2 道路整備の推進】	H 31 年 度	内 容	①市道泉原千提寺線道路改良事業 委託料 C=0百万円 用地費 C=0百万円 工事費 C=0百万円				事業の方向性の見込み(対前年度比)			
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0)	うち市負担分(百万円)	(0)	H32年度	継続
											H33年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード				

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

取組	5-6-2	★ 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備						
E1	事業名	◎ JR茨木駅構内エスカレーター整備事業(H30年度事業完了)						
	目的 及び 概要	JR茨木駅利用者の利便性向上ならびに本市の玄関口としてのイメージアップやにぎわい創出を図るため、駅構内におけるエスカレーター設置等を行うとともに、本事業により暫定整備となっている東口駅前広場上部デッキ庇部分ならびに駅前広場の交差点整備を行った。  【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】						
	担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般	事業区分
取組	5-6-3	(仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり						
E2	事業名	JR総持寺駅整備事業(H30年度事業完了)						
	目的 及び 概要	平成30年春、JR京都線摂津富田・茨木間に新駅設置と周辺整備を行うことで、交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図った。  【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】						
	担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般	事業区分

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-7	環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくりをすすめる
施策の方向性	限られた資源を有効に活用し、地域内で循環する省エネルギー型の都市をめざすとともに、誰にもやさしい福祉のまちづくりや、既存のストックの活用や施設の長寿命化などを進めていきます。これにより、将来にわたって住み続けることができるまちをめざします。 今後も増加すると懸念される空き家については、所有者への働きかけを行うほか、まちづくりへの活用をめざします。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	環境負荷の低減
	2	★ 誰にも優しいまちづくりの推進
	3	危険家屋・老朽マンション対策
	4	都市計画施設の見直し
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-7-1	環境負荷の低減												
1	事業名	低炭素都市づくり推進事業												
	目的及び概要	スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりを促進するなど、環境にやさしいライフスタイルを実現し、低炭素都市づくりを進めていきます。 また、東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業実現化に向け協議を行っていきます。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H31年度	内容 ①スマートコミュニティの考え方を導入した都市づくりの促進 ②東芝工場跡地でのスマートコミュニティ事業に関する協議			事業の方向性の見込み(対前年度比)				
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H32年度	継続
													H33年度	継続
													H34年度	継続
													H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
2	事業名	【再掲】都市計画決定等事務事業												
	目的及び概要	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定・変更を行う。 【関連取組:5-2-2 幹線道路沿道での企業立地誘導】 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】 【関連取組:5-7-4 都市計画施設の見直し】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H31年度	内容 ①都市計画決定等 ②都市計画マスタープランの見直し			事業の方向性の見込み(対前年度比)				
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(2.9)	うち市負担分(百万円)	(2.9)	H32年度	継続
													H33年度	継続
													H34年度	継続
													H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
3	事業名	【再掲】エリアマネジメント推進検討事業												
	目的及び概要	既成市街地や新たな開発において、住民・事業者・地権者等の地域の担い手が主体となった将来の維持管理や運営(マネジメント)等の実現に向けた取組を推進する。 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H31年度	内容 ①関係部署・関係機関との協議 ②市民・民間との連携・協働			事業の方向性の見込み(対前年度比)				
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0)	うち市負担分(百万円)	(0)	H32年度	継続
													H33年度	継続
													H34年度	継続
													H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取組	5-7-2		★ 誰にも優しいまちづくりの推進									
4	事業名	福祉のまちづくり事業						事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
	目的 及び 概要	高齢者や障害者が、安全で気軽にあらゆる 社会に参画し、自らの意思で自由に行動でき るよう、都市施設のうち大阪府福祉のまちづく り条例に基づく基準適合努力義務対象建築 物について、事前協議を行う。  【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活 用】		H 31 年 度	内容	①事前協議書の受領・審査及び完了届出書の審 査(0.0百万円)			H32 年 度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H35 年 度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
5	事業名	◎ バリアフリー化推進事業(ソフト)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
	目的 及び 概要	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進 に関する法律(バリアフリー法)に基づき、旅 客施設や病院、福祉施設など高齢者や障害 者等が利用する施設が集まった地区(重点整 備地区)のバリアフリー化を重点的かつ一 体的に推進する。  【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活 用】		H 31 年 度	内容	①バリアフリー基本構想に基づいた取組の進行管 理			H32 年 度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H35 年 度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
6	事業名	◎ バリアフリー化推進事業(ハード)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
	目的 及び 概要	バリアフリー基本構想及び特定事業計画に 基づき、重点整備地区の道路などのバリアフ リー化に取り組む。  【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活 用】		H 31 年 度	内容	①工事 ・生活関連経路 市道松下町西穂積線 C=10.0百万円			H32 年 度	継続		
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	10.0	うち市負担分 (百万円)	5.0	H35 年 度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード			
取組	5-7-3		危険家屋・老朽マンション対策									
7	事業名	空家対策事業						事業の方向性 の見込み (対前年度比)				
	目的 及び 概要	少子高齢化や人口減少の進行により、今後 空家の増加が懸念されるため、「茨木市空家 等対策計画」に基づき、空家化を抑制すると 共に、空家の適正管理、利活用を促進する。		H 31 年 度	内容	①空家活用支援補助 ②空家活用推進業務			H32 年 度	縮小		
					方向性 (対前年度比)	拡充	事業費 (百万円)	6.5	うち市負担分 (百万円)	6.5	H35 年 度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	居住政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			

8	事業名	マンション建替円滑化等事務事業										
	目的 及び 概要	マンションの良好な居住環境の確保のため、マンションの適正管理や建替事業に伴う建替組合の設立などに対する支援を行います。	H 31 年度	内容	①老朽化したマンションの適正管理や建替事業にともなう建替組合の設立などに対する支援を行う。						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H32 年度	継続
											H33 年度	継続
											H34 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.1	うち市負担分 (百万円)	0.1	H35 年度	継続					
担当課	部名	都市整備部	課名	居住政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
9	事業名	建築物維持保全指導事業										
	目的 及び 概要	良好な居住環境を保全するため、適法に維持保全されていない建築物の所有者等に適法な状態を継続的に保つよう指導を行う。	H 31 年度	内容	①建物維持保全指導(0.0百万円) ②文書指導(0.0百万円) ③民間建築物の吹付アスベストの調査費用に対する補助(0.3百万円)						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H32 年度	継続
											H33 年度	継続
											H34 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.3	うち市負担分 (百万円)	0.0	H35 年度	継続					
担当課	部名	都市整備部	課名	審査指導課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
取組	5-7-4	都市計画施設の見直し										
10	事業名	【再掲】都市計画決定等事務事業										
	目的 及び 概要	大阪府等関係機関と協議・調整を図りながら、都市計画決定・変更を行う。  【関連取組:5-2-2 幹線道路沿道での企業立地誘導】 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導】 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H 31 年度	内容	①都市計画決定等 ②都市計画マスタープランの見直し						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
											H32 年度	継続
											H33 年度	継続
											H34 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	(2.9)	うち市負担分 (百万円)	(2.9)	H35 年度	継続					
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-8	暮らしと産業を支える交通を充実させる
施策の方向性	国土軸に位置する優位性をさらにいかしていくとともに、平成25年度に策定した総合交通戦略に基づき、「住みやすい・移動しやすい」まちづくりのため、道路ネットワークの充実と強化、公共交通の利用促進や歩行者・自転車空間の安全性の向上等の総合的な交通施策を進めます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	★ 公共交通の維持・充実
	2	★ 道路整備の推進
	3	駐車場・駐輪場の充実
	4	歩行者、自転車利用環境の整備
	5	★ 交通安全対策の推進
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-8-1		★ 公共交通の維持・充実					
1	事業名	◎ 公共交通対策事業(ハード)						
	目的及び概要	鉄道利用者の安全を確保するため、鉄道駅における可動式ホーム柵等の整備を促進する。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H31年度	内容 ①鉄道駅可動式ホーム柵整備に対する補助金	事業の方向性の見込み(対前年度比) H32年度 継続 H33年度 継続 H34年度 完了 H35年度 -			
	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	20.2	うち市負担分(百万円)	20.2		
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード
2	事業名	◎ 公共交通対策事業(ソフト)						
	目的及び概要	持続可能な公共交通サービスを確保するため、積極的な利用を促すとともに、社会実験等を行いながら、地域の実情に合った交通手段を検討する。 【関連取組:5-6-4 北部地域の魅力向上】	H31年度	内容 ①地域バス路線維持費補助金(1.5百万円) ②市民の移動支援の検討(0百万円)	事業の方向性の見込み(対前年度比) H32年度 臨時拡充 H33年度 継続 H34年度 継続 H35年度 継続			
	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	1.5	うち市負担分(百万円)	1.5		
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ソフト
3	事業名	◎ 茨木市総合交通戦略事業						
	目的及び概要	本市にふさわしい交通のあり方の実現に向け、市民、交通事業者、関係機関など多様な主体との協働により、計画的に交通施策を推進する。 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H31年度	内容 ①計画の進行管理 ②計画に位置付けられている中期施策の実施(必要に応じ、見直した施策の実施)	事業の方向性の見込み(対前年度比) H32年度 継続 H33年度 継続 H34年度 継続 H35年度 臨時拡充			
	方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0		
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ソフト

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

取組	5-8-2		★ 道路整備の推進									
4	事業名	山麓線整備事業										
	目的及び概要	<p>市域山麓部の東西交通と彩都アクセスの円滑化を図るため、彩都や安威川ダムの事業進捗に合わせ、府道茨木亀岡線から彩都東部地区、府道忍頂寺福井線、府道余野茨木線を経て、中部地区、西部地区へと至る道路の整備を行う。</p> <p>【関連取組:5-4-2 彩都の都市づくり】</p>			H31年度	内容	<p>①委託 C= 3.0百万円 ②工事 C=140.0百万円 ③負担金 C= 2.0百万円 ④用地費 C=120.0百万円</p>			事業の方向性の見込み(対前年度比)		
					方向性(対前年度比)	完了	事業費(百万円)	265.0	うち市負担分(百万円)	220.0	H32年度	-
											H33年度	-
											H34年度	-
											H35年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード			
5	事業名	新名神周辺道路等整備事業										
	目的及び概要	<p>新名神関連事業として、千提寺地区の自然環境、歴史、文化資源等の恵まれた地域資源を活かして、都市住民との交流を促進する空間を整備することにより地域の活性化を図る。また、新名神高速道路の供用開始に伴い通過交通が増加するため、市道の拡幅を行うことにより歩行者、車両等の安全を確保する。</p> <p>【関連取組:5-6-4 市北部地域の魅力向上】</p>			H31年度	内容	<p>①市道泉原千提寺線道路改良事業 委託料 C=0百万円 用地費 C=0百万円 工事費 C=0百万円</p>			事業の方向性の見込み(対前年度比)		
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
											H35年度	完了
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード			
6	事業名	JR総持寺駅周辺整備事業										
	目的及び概要	<p>JR京都線摂津富田・茨木間にJR総持寺駅が設置されたことを受け、利用者の交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図るため、駅前周辺道路等の整備を行う。</p> <p>【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】</p>			H31年度	内容	<p>①庄中央線 C=143.0百万円 ②総持寺駅前線 C=571.9百万円 ③公囁 C= 10.0百万円</p>			事業の方向性の見込み(対前年度比)		
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	724.9	うち市負担分(百万円)	403.9	H32年度	継続
											H33年度	完了
											H34年度	-
											H35年度	-
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード			
7	事業名	道路新設・改良事業(補助分)										
	目的及び概要	<p>歩行者、自転車等の通行の安全や渋滞の解消等、円滑で快適な交通の流れを確保するため、国からの補助採択を受けて、用地買収、歩道整備や車道の拡幅及び交差点改良を行う。</p>			H31年度	内容	<p>①市道宿久庄二丁目安威一丁目線 C=15.0百万円 ②市道天王一丁目沢良宜西二丁目線 C=101.1百万円</p>			事業の方向性の見込み(対前年度比)		
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	116.1	うち市負担分(百万円)	77.6	H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
											H35年度	継続
	担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード			

8	事業名	道路新設・改良事業(単独分)								
	目的 及び 概要	歩行者、自転車等の通行の安全や渋滞の解消等、円滑で快適な交通の流れを確保するため、市の単独事業として現道に沿って歩道及び車道の拡幅整備を行う。	H 31 年度	内容	①沢良宜西一丁目玉島台線 C=8.1百万円				事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					②沢良宜西四丁目地区内線 C=2.0百万円				H32 年度	継続
					③委託料 C=25.0百万円				H33 年度	継続
					④負担金 C=3.0百万円				H34 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	38.1	うち市負担分 (百万円)	38.1	H35 年度	継続			
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード		
9	事業名	橋梁新設改良事業								
	目的 及び 概要	橋梁耐震診断の結果を基に、補強・補修をすることにより、地震発生時における安全を確保するとともに、老朽化橋梁の架け替えや改良を実施する。	H 31 年度	内容	①野々宮3号線 (あけぼの橋) C=136百万円				事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					②耐震補強(工事) C=0百万円				H32 年度	継続
					③耐震補強(設計委託) C=0百万円				H33 年度	継続
									H34 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	136.0	うち市負担分 (百万円)	119.0	H35 年度	継続			
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード		
10	事業名	橋梁維持事業								
	目的 及び 概要	本市管理橋梁の定期的な点検及び計画的な維持修繕を継続的に実施することにより、橋梁を常に健全な状態に保ち、歩行者及び車輛の通行の安全を確保するとともに、予防保全による計画的修繕(長寿命化修繕)を実施することによりコストの縮減を図るため、計画的な維持修繕を実施する。	H 31 年度	内容	①工事 C=97.0百万円				事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					②負担金(定期点検) C=18.4百万円				H32 年度	継続
					③委託(設計委託) C=0百万円				H33 年度	継続
									H34 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	153.6	うち市負担分 (百万円)	82.9	H35 年度	継続			
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード		
11	事業名	駅前太中線整備事業(第4工区)								
	目的 及び 概要	市街地中心部における交通の円滑化や歩行者の安全確保等、交通環境の向上を図るため、市内を南北に結ぶ道路である駅前太中線のうち、天王一丁目から丑寅一丁目までの区間の整備を行う。	H 31 年度	内容	①関係者協議 C=0百万円				事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
									H32 年度	継続
									H33 年度	継続
									H34 年度	継続
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	0.0	うち市負担分 (百万円)	0.0	H35 年度	継続			
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード		

12	事業名	渋滞対策事業										
	目的及び概要	渋滞ゼロを見据え、国や府との協議調整を踏まえた上で、将来交通量の推移等を予測する等、様々な渋滞解消に向けたアプローチを実施する。				H31年度	内容	①各渋滞ポイントにおいて、渋滞解消に効果のある改良工事等の各種対策を検討。 委託料 C=12.5百万円				事業の方向性の見込み(対前年度比)
					方向性(対前年度比)	完了	事業費(百万円)	12.5	うち市負担分(百万円)	12.5	H32年度	-
											H33年度	-
											H34年度	-
											H35年度	-
担当課	部名	建設部		課名	道路交通課		会計区分	一般		事業区分	ソフト	
13	事業名	新名神推進事業										
	目的及び概要	西日本高速道路㈱が整備する新名神高速道路及び大阪府が整備するアクセス道路の建設促進を図る。				H31年度	内容	①用地処理(底地移管)				事業の方向性の見込み(対前年度比)
					方向性(対前年度比)	完了	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H32年度	-
											H33年度	-
											H34年度	-
											H35年度	-
担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分	一般		事業区分	ソフト	
14	事業名	【再掲】彩都建設推進事業										
	目的及び概要	大阪の活性化・発展に向けて、大阪府、茨木・箕面市、都市再生機構、民間事業者、経済団体、大学、研究機関、公益団体などの産学官が連携して、魅力と活力ある複合機能都市「彩都」の形成に取り組む。 【関連取組:5-2-3 特区制度などを活用した企業立地】 【関連取組:5-4-2 彩都のまちづくり】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】				H31年度	内容	①交番の設置要望 ②(東部地区)先行エリアの事業推進 ③(東部地区)残りのエリアの事業化に向けた取り組み支援 ④東部地区C区域の事業推進への支援				事業の方向性の見込み(対前年度比)
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(2.2)	うち市負担分(百万円)	(2.2)	H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
											H35年度	継続
担当課	部名	都市整備部		課名	北部整備推進課		会計区分	一般		事業区分	ソフト	
取組	5-8-3	駐車場・駐輪場の充実										
15	事業名	市営駐車場管理運営事業										
	目的及び概要	本市内の道路交通の円滑化を図り、市民の利便に資するため駐車場施設の管理運営を行う。				H31年度	内容	①指定管理者による駐車場管理				事業の方向性の見込み(対前年度比)
					方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(294.7)	うち市負担分(百万円)	0.0	H32年度	継続
											H33年度	継続
											H34年度	継続
											H35年度	継続
担当課	部名	建設部		課名	建設管理課		会計区分	一般		事業区分	ソフト	

16	事業名	市営駐車場修繕事業										
	目的 及び 概要	市民が市営駐車場を常に良好な状態で利用してもらうため、定期的に施設を点検する。損傷状態を判定して修繕を実施する。	H 31 年度	内容	①定期的な施設点検 ②施設の修繕						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	17.3	うち市負担分 (百万円)	17.3	H32 年度	継続
											H33 年度	継続
											H34 年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	建設管理課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
17	事業名	送迎用バスターミナル管理運営事業										
	目的 及び 概要	JR茨木駅周辺の道路交通の円滑化のため、送迎用バスターミナル(上穂東町・松ヶ本町)の管理運営を行う。	H 31 年度	内容	①用地賃借料						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	20.4	うち市負担分 (百万円)	9.5	H32 年度	継続
											H33 年度	継続
											H34 年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	建設管理課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				
取組	5-8-4	歩行者、自転車利用環境の整備										
18	事業名	自転車利用環境整備事業										
	目的 及び 概要	安全で快適な自転車の利用環境を実現させることを目的に自転車利用環境整備計画に基づいて整備を行う。	H 31 年度	内容	①優先整備対象路線の整備 ・市道沢良宜西一丁目玉島台線ほか 工事費C=5.5百万円 ②自転車利用環境整備計画中間見直し 委託費等C=2.8百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	8.3	うち市負担分 (百万円)	5.3	H32 年度	継続
											H33 年度	継続
											H34 年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード				
取組	5-8-5	★ 交通安全対策の推進										
19	事業名	◎ 交通安全対策事業										
	目的 及び 概要	交通事故の撲滅や無秩序なめいわく駐車・違法駐車排除のため、幼稚園・小中学校等での交通安全教室を実施するとともに、交通安全推進団体に対し交付金を付与する。また、交通事故防止、公共交通による移動支援を目的に運転免許証を自主返納した高齢者に対し、交通系ICカードを補助する。	H 31 年度	内容	①交通安全教室の実施 ②「交通事故をなくす運動」茨木市推進本部交付金 C=1.5百万円 ③茨木市高齢者運転免許証自主返納支援事業補助金 C=6.0百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
					方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	7.5	うち市負担分 (百万円)	7.5	H32 年度	継続
											H33 年度	継続
											H34 年度	継続
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ソフト				

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

20	事業名 ◎ 歩道設置事業										
	目的 及び 概要	H 31 年度	内容	①歩道設置工事 ・田中町西河原線 用地費C=2.3百万 委託費C=5.5百万円 (物件調査、公嘴) ・松下町西穂積線 委託費C=9.5百万(詳細設計) ②歩道段差改良工事 C=12.0百万円 ③横断歩道新設工事 C=11.0百万円 ④通学路カラー舗装 C=1.8百万円 ⑤工事負担金ほか C=5.6百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				H32 年度	継続						
				H33 年度	継続						
				H34 年度	継続						
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	47.6	うち市負担分 (百万円)	47.6	H35 年度	継続				
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード			
21	事業名 ◎ 交通安全施設整備事業										
	目的 及び 概要	H 31 年度	内容	①交通安全施設整備事業						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				H32 年度	継続						
				H33 年度	継続						
				H34 年度	継続						
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	55.0	うち市負担分 (百万円)	55.0	H35 年度	継続				
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ハード			
22	事業名 ◎ 交通安全施設維持管理事業										
	目的 及び 概要	H 31 年度	内容	①交通安全施設修繕 C=17.0百万円 ②交通量調査 C=1.9百万円 ③交通安全施設点検 C=31.3百万円						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				H32 年度	継続						
				H33 年度	継続						
				H34 年度	継続						
方向性 (対前年度比)	臨時 拡充	事業費 (百万円)	50.2	うち市負担分 (百万円)	34.6	H35 年度	継続				
担当課	部名	建設部	課名	道路交通課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
23	事業名 放置自転車等対策事業										
	目的 及び 概要	H 31 年度	内容	①駅前指導・移動・保管 ②保管事務所の警備						事業の方向性 の見込み (対前年度比)	
				H32 年度	継続						
				H33 年度	継続						
				H34 年度	継続						
方向性 (対前年度比)	継続	事業費 (百万円)	36.6	うち市負担分 (百万円)	33.0	H35 年度	継続				
担当課	部名	建設部	課名	建設管理課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			

1 施策の概要

まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
施策	5-9	市民・民間によるまちづくりを促進する
施策の方向性	まちづくりに関する知識の普及、情報の提供、まちづくり活動への支援を継続して進め、住民主体のまちづくりの促進に努めるだけでなく、民間事業者と協力して進める新しいまちづくりについても検討、推進し、本市の魅力と活力を発信していきます。	
取組 ★:重点プラン 該当取組	1	民間との連携、活力の活用
	2	市民による地域づくり
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	

2 実施計画

★:重点プラン該当取組、◎重点プラン該当事業

取組	5-9-1		民間との連携、活力の活用								
1	事業名	エリアマネジメント推進検討事業									
	目的及び概要	既成市街地や新たな開発において、住民・事業者・地権者等の地域の担い手が主体となった将来の維持管理や運営(マネジメント)等の実現に向けた取組を推進する。 【関連取組:5-7-1 環境負荷の低減】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】	H31年度	内容	①関係部署・関係機関との協議 ②市民・民間との連携・協働	事業の方向性の見込み(対前年度比)					
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.0	うち市負担分(百万円)	0.0	H32年度	継続
										H33年度	継続
										H34年度	継続
										H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
2	事業名	【再掲】地域でのまちづくり推進事業									
	目的及び概要	市民がまちづくり活動等に参加するきっかけづくりや意識啓発のための事業を実施する。 【関連取組:5-9-2 市民による地域づくり】	H31年度	内容	①いばらきまちづくりラボの開催 ②まちづくり塾の開催 ③生涯学習出前講座の実施 ④まちづくりアドバイザー派遣	事業の方向性の見込み(対前年度比)					
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0.5)	うち市負担分(百万円)	(0.5)	H32年度	継続
										H33年度	継続
										H34年度	継続
										H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		
3	事業名	【再掲】次なる茨木・グランドデザイン推進事業									
	目的及び概要	中心市街地におけるまちの将来像を描いた「次なる茨木・グランドデザイン」を示し、多くの市民や多様な主体と共有・発展させながら、担い手の発見など、まちづくりに関係する人を増やす。 【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持・増進)】	H31年度	内容	①まちづくりをテーマにしたワークショップやその実践などを通じて、市民(プレーヤー)との継続的な関わりを『クラウド会議』というかたちで具体化 ②大学と連携したまちづくり勉強会	事業の方向性の見込み(対前年度比)					
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(0.2)	うち市負担分(百万円)	(0.2)	H32年度	継続
										H33年度	継続
										H34年度	継続
										H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ソフト		

事業の方向性の意味については9ページを参照してください。

4	事業名	【再掲】茨木市中心市街地活性化事業									
	目的及び概要	<p>中心市街地の活性化を図るため「中心市街地活性化に関する法律」に基づく「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定する。</p> <p>また、都市計画マスタープランで位置づけている多核ネットワーク型都市構造の実現に向け都市拠点としての機能配置を踏まえたものとする。【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】【関連取組:5-6-1 生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持)】【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】</p>	H31年度	<p>内容</p> <p>①関係各課において計画掲載事業実施 ②基本計画定期フォローアップ報告 ③まちづくり会社設立準備金 まちづくり会社出資金(資本金) 300万円 ④まちづくり会社補助金 運営支援金補助 2,075万円 事業支援金補助 260万円</p>	事業の方向性の見込み(対前年度比)		H32年度	継続			
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(26.4)	うち市負担分(百万円)	(26.4)	H35年度	継続
担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
5	事業名	【再掲】幹線道路沿道土地利用事業									
	目的及び概要	<p>広域幹線道路沿道の市街化調整区域において、地権者等とともに幹線沿道のこれからの時代にふさわしい土地利用を進め、地域のにぎわいづくりと活性化を図る。</p> <p>【関連取組:5-4-1 計画的な都市基盤整備や市街地整備】 【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力づくり】</p>	H31年度	<p>内容</p> <p>【玉島地区】 ①地区別事業化支援 【目垣地区】 ①関係機関との調整 ②都市計画変更・決定 ③土地区画整理組合設立 ④土地区画整理事業の実施 ※補助金について債務負担行為設定予定(2020年～2023年)</p>	事業の方向性の見込み(対前年度比)		H32年度	継続			
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(137)	うち市負担分(百万円)	(137)	H35年度	継続
担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般	事業区分	ハード			
6	事業名	【再掲】阪急茨木市駅西口駅前周辺整備事業									
	目的及び概要	<p>市の玄関口である西口駅前周辺において、交通結節点の機能強化とともに、多くの市民が集える空間として、活性化を図り、魅力あるまちづくりの実現を図る。</p> <p>【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】</p>	H31年度	<p>内容</p> <p>①事業調整業務等 552万円 1関係者協議(国・府・警察等) 2概算事業費算出・事業計画の調整 3まちづくり学集會運営支援 4学集會報告書作成</p>	事業の方向性の見込み(対前年度比)		H32年度	継続			
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(5.6)	うち市負担分(百万円)	(5.6)	H35年度	継続
担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			
7	事業名	【再掲】JR茨木駅西口駅前周辺整備事業									
	目的及び概要	<p>市の玄関口である西口駅前周辺において、交通結節点の機能強化とともに、多くの市民が集える空間として、活性化を図り、魅力あるまちづくりの実現を図る。</p> <p>【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】</p>	H31年度	<p>内容</p> <p>①協議会運営支援業務 767万円 1まちづくり協議会運営支援 2再整備計画提案者選定支援業務 3再整備計画提案に伴う計画協議</p>	事業の方向性の見込み(対前年度比)		H32年度	継続			
				方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(7.7)	うち市負担分(百万円)	(7.7)	H35年度	継続
担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般	事業区分	ソフト			

8	事業名	【再掲】ダム周辺整備事業												
	目的及び概要	<p>早期の治水効果発現を目指して建設中の安威川ダムにおいて、ダム完成後の周辺の魅力向上につながる整備を実施するための取り組みを進める。</p> <p>【関連取組:3-4-1 観光資源の発掘とネットワーク化の推進】</p> <p>【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】</p>				H31年度	内容	<p>①事業者公募</p> <p>②ダム湖畔展望広場整備事業(用地買収)</p> <p>③権内せせらぎ広場整備事業(測量)</p>				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(67.7)	うち市負担分(百万円)	(33.1)	H32年度	継続
													H33年度	完了
													H34年度	-
													H35年度	-
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般		事業区分	ハード				
9	事業名	【再掲】彩都建設推進事業												
	目的及び概要	<p>大阪の活性化・発展に向けて、大阪府、茨木・箕面市、都市再生機構、民間事業者、経済団体、大学、研究機関、公益団体などの産学官が連携して、魅力と活力ある複合機能都市「彩都」の形成に取り組む。</p> <p>【関連取組:5-2-3 特区制度などを活用した企業立地】</p> <p>【関連取組:5-4-2 彩都の都市づくり】</p> <p>【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】</p>				H31年度	内容	<p>①交番の設置要望</p> <p>②(東部地区)先行エリアの事業推進</p> <p>③(東部地区)残りのエリアの事業化に向けた取り組み支援</p> <p>④東部地区C区域の事業推進への支援</p>				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(2.2)	うち市負担分(百万円)	(2.2)	H32年度	継続
													H33年度	継続
													H34年度	継続
													H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
10	事業名	【再掲】北部魅力アップ事業												
	目的及び概要	<p>本市北部地域にある緑豊かな自然環境や歴史環境、開通した新名神高速道路をはじめ、事業推進している安威川ダム、彩都の大規模プロジェクトなどの資源をつなぐとともに、地域課題や地域のあり方も踏まえ、北部地域の魅力向上を図るための検討と取組を地域や関係団体とともに進める。</p> <p>【関連取組:3-4-2 観光情報の発信を強化】</p> <p>【関連取組:5-6-4 北部地域の魅力向上】</p> <p>【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】</p>				H31年度	内容	<p>①魅力向上事業(資源や人、組織との連携強化と対話の推進、プロモーション展開)</p> <p>・「いばきた」フォトサイクリングの実施</p> <p>・いばきたデザインプロジェクトの実施</p> <p>・いばきたマルシェの開催</p> <p>・その他山とまちををつなぐ取組の実施</p>				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	(6)	うち市負担分(百万円)	(6)	H32年度	継続
													H33年度	継続
													H34年度	継続
													H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	北部整備推進課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				
取組		5-9-2	市民による地域づくり											
11	事業名	地域でのまちづくり推進事業												
	目的及び概要	<p>市民がまちづくり活動等に参加するきっかけづくりや意識啓発のための事業を実施する。</p> <p>【関連取組:5-9-1 民間との連携、活力の活用】</p>				H31年度	内容	<p>①いばらきまちづくりラボの開催</p> <p>②まちづくり塾の開催</p> <p>③生涯学習出前講座の実施</p> <p>④まちづくりアドバイザー派遣</p>				事業の方向性の見込み(対前年度比)		
							方向性(対前年度比)	継続	事業費(百万円)	0.5	うち市負担分(百万円)	0.5	H32年度	継続
													H33年度	継続
													H34年度	継続
													H35年度	継続
	担当課	部名	都市整備部	課名	都市政策課	会計区分	一般		事業区分	ソフト				

3 過去の実施計画期間中で完了・廃止した事業(担当部課名は事業実施最終年度の名称)

取組	5-9-1		民間との連携、活力の活用					
E1	事業名	【再掲】JR総持寺駅整備事業(H30年度事業完了)						
	目的及び概要	平成30年春、JR京都線摂津富田・茨木間に新駅設置と周辺整備を行うことで、交通利便性の向上と都市機能の充実・強化を図った。 【関連取組:5-6-3 (仮称)JR総持寺駅を活かした都市づくり】						
	担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般	事業区分
E2	事業名	【再掲】JR茨木駅構内エスカレーター整備事業(H30年度事業完了)						
	目的及び概要	JR茨木駅利用者の利便性向上ならびに本市の玄関口としてのイメージアップやにぎわい創出を図るため、駅構内におけるエスカレーター設置等を行うとともに、本事業により暫定整備となっている東口駅前広場上部デッキ庇部分ならびに駅前広場の交差点整備を行った。 【関連取組:5-6-2 魅力ある中心市街地・駅周辺の整備】						
	担当課	部名	都市整備部	課名	市街地新生課	会計区分	一般	事業区分